

進化と継承

福井県議会議員

ささ はら のぶ ゆき
笹原修之 NEWS



みなさまの声を
県政に届けます

日頃より福井県政の発展に向けた県議会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

北陸新幹線福井・敦賀開業から早1年が経過し、観光来訪者の増加率は前年同期比113%（2月末現在）と全国で最も高く注目を浴びましたが、来訪者数で見ると、福井県は約807万人で、全国で3番目に少ない結果でした。観光素材の一層の磨き上げや発信強化、インバウンドの誘客など課題は山積みです。

また、備蓄米の放出による米価の安定や、原子力発電による使用済燃料のロードマップ、洋上風力や太陽光発電といった再生可能エネルギーによる脱炭素社会に向けたエネルギー計画の見直しなど、福井県を取り巻く課題は多く、引き続き皆様と共に全力を尽くしてまいります。

笹原修之 県政報告会

2月22日、JA福井県金津支店にて県政報告会を開催いたしました。稲田朋美衆議院議員、滝波宏文参議院議員にも駆けつけていただき、両名より近況の国政報告もいただきました。私からは北陸新幹線小浜・京都ルートへの認可に必要な着工5条件（財源・収益性・費用対効果・JRの同意・並行在来線の地元同意）や、京都府の懸念点（地下水・建設残土・交通渋滞・財源確保）などについて説明させていただきました。



使用済燃料対策ロードマップについて

2月13日、搬出計画が2年延期された「使用済燃料対策ロードマップ（工程表）」の見直し案が関西電力から示されました。

（抜粋）

POINT 01 六ヶ所再処理工場を2026年度中に竣工し、2028～2030年度の3年間で198tを搬出する。

POINT 02 使用済MOX燃料の再処理実証研究のため、2027～2029年度にかけてフランスに200tを搬出し、さらに200トンの搬出枠を確保し、2030年度から100tを搬出する。

POINT 03 中間貯蔵施設の他地点を確保し、2030年頃に操業を開始する。

年度	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	
六ヶ所再処理工場	各電力会社の使用済燃料の再処理											
	下期：70t / 上期：60t / 下期：110t / 上期：90t (徐々に800tに増加) 800t 800t 800t 800t											
	各電力会社の使用済燃料受入れ											
使用済MOX燃料再処理実証研究	高浜発電所から仏国搬出（オラノ社への搬出 200t+100t）											
	70t 70t 60t 100t											
中間貯蔵施設	関西電力からの使用済燃料搬出量											
	78t 66t 54t (その後も必要量を搬出)											
中間貯蔵施設 操業												

上記ロードマップに従って搬出を進めることで、各発電所の貯蔵量は管理容量以下で推移し、2032年度のピーク時も満杯にならず、将来的には搬出量が発生量を上回り、貯蔵量は減少する見通しが示され、実効性を考える上で一定の意義があると判断しました。2月議会では、延期を重ねる六ヶ所再処理工場への搬出に対する懸念や、ロードマップの実現に向けた国や事業者の責任ある対応を求める要望など、様々な意見がありました。当会派ではこうした意見を踏まえ、杉本知事に武藤経産大臣と関西電力森社長と再度面会し、ロードマップの実効性について厳正に確認するよう求めました。

1 文化観光の磨き上げによる福井県の魅力増進・コンテンツ造成について

Q. 浄土真宗第8代法主「蓮如上人」が布教の拠点として建立した「吉崎御坊」は、日本初の寺内町として地域社会の文化的中心地の役割を果たしましたが、歴史的な遺産価値のある「吉崎御坊跡」や中世の偉人「蓮如上人」が育んだ現代にも通じる精神文化や経済政策についてどのように捉えているか、県の所見を伺います。

A 交流文化部長

吉崎御坊は蓮如が布教活動の拠点とし、中世の宗教都市の原型として非常に価値が高く、国の史跡にも指定されています。当時は、御山の奥に坊舎を備え、周囲に土塁をめぐらせたと考えられています。今も坊舎跡と考えられる場所には、数個の礎石が残っており、今後あわら市による発掘調査で歴史的な価値が評価されれば、あわら市とともに一層の観光活用を図っていきたいと考えております。

Q. 文化振興を観光振興や地域活性化に繋げることで、経済効果を文化振興に再投資する好循環を創出するため、一乗谷朝倉氏遺跡・白山平泉寺・吉崎御坊の関わりを中世の「文化観光コンテンツ」として磨き上げ、文化資源の観覧や体験活動を通じて福井県のさらなる魅力増進を図るべきと考えますが、県の所見を伺います。

A 交流文化部長

一乗谷朝倉氏遺跡や白山平泉寺は中世の都市遺跡が良い状態で残っており、日本遺産として認定されています。吉崎御坊も戦国動乱の歴史の魅力や特色を物語る貴重な文化財であり、文化観光の拠点として大いにPRできるものと考えています。今後、あわら市は吉崎御坊の発掘調査を進めるとお聞きしており、県としても中世考古学や歴史学の専門職員による必要な協力をしたいと考えています。

Q. 「吉崎御坊跡」の発掘調査は、文化庁と連絡調整しながら計画を策定していく必要がありますが、北陸随一の商業都市であった「吉崎御坊」に再び目を向けることは、まさに日本一幸福な県である福井県民の精神性や日本経済のルーツを紐解くカギとなり、次世代に誇れる福井の魅力創造に繋がると考えますが、県の所見を伺います。

A 教育長

吉崎御坊跡は、蓮如上人が当地を離れてから約500年間そのままの姿で残っており、国史跡に指定されていることから、極めて歴史的価値が高いと認識しています。あわら市では文化財保存活用地域計画を策定し、さらに吉崎御坊跡の個別の保存活用計画を策定する必要がありますが、県としてはこの計画策定に係る文化庁との調整や、国庫補助採択等に向けた支援などの取組に伴走してまいります。



日本経済のルーツを紐解くカギとなり、次世代に誇れる福井の魅力創造に繋がると考えますが、県の所見を伺います。



笹原的まとめ

地方の最大の武器は、ここにしかない歴史や文化！
これらを最大限に活かした福井県ならではの施策を期待します！

2 県営総合公園の再整備による利用率向上と環境保全について

Q. 「トリムパークかなづ」では、体育館アリーナのLED化や空調設備の改修により快適な利用環境が整備され、昨年度改修した芝生広場では、グラウンドゴルフなど健康づくりの面でも住民福祉の向上に繋がっています。今後も、県民から親しまれる使いやすい公園整備を進めるべきと考えますが、鷺頭副知事の所見を伺います。

A 鷺頭副知事

県営総合公園では国の都市公園事業などを活用し、トイレの洋式化や空調設備の更新、キャッシュレス決済やウェブ予約システムの導入、さらには照明器具のLED化や木製ベンチの硬質化など、老朽化した施設の更新や利便性の向上、維持管理の効率化にも取組み、今後も利用者の意見を聞きながら、使いやすく効率的な公園整備をしっかりと継続し、そして公園が活性化するよう努めてまいります。

Q. 自然と人とのつながりを学ぶ「森の学校」は、自然環境の中で学びと体験を楽しむことができる施設ですが、施設の至る所で激しく老朽化が進み、木製回廊の床板は腐り、外灯は倒れたままで進入禁止です。環境保全にも配慮し、誰もが安全に使えるよう再整備すべきと考えますが、今後どのように再編を検討されるのか伺います。

A 土木部長

ネイチャーゾーンは昨年度、利用者からの意見を踏まえ、芝生広場の張り替えや雑木の伐採を行いました。「森の学校」については木造施設の老朽化が進んでおり、一部使用できない状況となっています。このため、来年度にはワークショップやアンケート調査を行い、利用者のニーズを十分に把握した上で、県民の皆様が安全に利用できる施設となるよう再整備計画を策定いたします。



Q. 地域住民の福祉の向上と、県土の均衡ある発展を目的とした「県営総合公園」は県内に4施設あり、文化・スポーツ・自然散策など県民が憩い、災害時には避難場所といった防災機能も持ち合わせますが、**県民の利用促進を図る為、利用者のニーズに合わせた見直しが必要であると**考えますが、県の取組み状況について伺います。

A **土木部長**

「若狭総合公園」では全天候型子ども遊び場での親子イベント、「丹南総合公園」や「奥越ふれあい公園」では市民参加型のスポーツイベント、「トリムパークかなづ」では野外ステージでの音楽フェスを開催し、キッチンカーによる食事や飲み物の提供など利用者を増やす取組を行っています。今後も引き続き利用者のニーズを聞きながら、各公園の特長を活かした利用促進に努めてまいります。

Q. 森の中では季節ごとに多様な植物や動物の自然観察ができますが、この公園内には環境省のレッドリストに上がり、**福井県のレッドデータブックでも絶滅危惧Ⅱ類に**指定される植物も自生しています。このような絶滅危惧種が生息・生育するような場所には、**看板やチラシ等**で周知徹底を図るべきと考えますが、県の所見を伺います。

A **エネルギー環境部長**

福井県レッドデータブックでは、絶滅危惧種は動物189種、植物434種を記載しており、絶滅を脅かす要因として、環境の改変や人為的に放逐された外来種の影響に加え、愛好家による捕獲・採取等が挙げられます。絶滅危惧種を保護するためには、生息・生育場所を伏せるなどの配慮が必要であり、本県では国や他府県と同様に、**不特定多数の目に触れる看板設置やチラシ配布等は行わない事**としています。

笹原的まとめ



県民のニーズをしっかり掴み、自然環境にも配慮し、福祉の向上や防災拠点など複合的な機能が満たされ、県民から愛される施設となることを期待します。

3 洋上風力発電における「広域サプライチェーン」と「地産地活」について

Q. 洋上風力発電関連のサプライチェーンは、地元企業の活性化や新たな雇用を生み出し、地域経済全体の発展を促進しますが、県が取りまとめる「**経済波及効果調査**」において、あわら市沖洋上風力発電の**出力規模や総事業費は**どれぐらいと見ているのか、また**経済波及効果や雇用創出は**どれぐらい発生すると見ているのか、県の所見を伺います。

A **エネルギー環境部長**

洋上風力は事業規模が大きく、関連産業への経済波及効果が大きいとされており、あわら市沖洋上風力の出力規模は、事業者の計画では**最大35万kW**となっています。経済波及効果は、風力発電の調査開発から撤去までのライフサイクル全体での**総事業費は最大で約4,800億円**、地域経済への波及効果は約1,670億円、新規雇用は平均すると毎年約310人分、30年間の通算で約9,300人生まれると試算をしております。

Q. 県工業技術センターが保有する炭素繊維技術は航空機部材に活用されており、また、産総研で新たに整備される新棟では、**複合材料に関する研究開発を行うこと**でしたが、**県工業技術センターや産総研とも連携し、炭素繊維技術を応用して洋上風力発電に必要な部材の開発等を進めてはどうか**と考えますが、県の所見を伺います。

A **産業労働部長**

本県が得意とする炭素繊維複合材料による風力発電部材としては、ブレード(羽根)が考えられますが、**100m級の大型ブレードを製造する拠点は海外にしかありません**。大型ブレードの開発は、広大な敷地と多額の研究費が必要となることから、産総研はもとより大手メーカーとも意見交換を行いながら、今後、**本県の炭素繊維を活用した大型ブレードの開発の可能性について検討**いたします。

Q. 北陸3県が広域連携し、洋上風力発電関連の部材や機械設備などの**技術開発や、開発者・運転管理者・技術者**といった**専門的な人材育成**の面で相互に補完しながら洋上風力発電の**サプライチェーンを構築**することは、**地域経済の活性化に加え、福井県としても温室効果ガス排出量の削減に寄与**すると考えますが、知事の所見を伺います。

A **知事**

風力発電の部品は3万点以上にも及ぶと言われており、**北陸3県が互いに協力し、自治体や企業、大学などが連携をしながらサプライチェーンを築いていくことは、非常に有用なもの**だと考えます。そのためにも、今年度新たに設立された、北陸3県の産学官金が集まった「**カーボンニュートラルBASE北陸**」や産総研などのネットワークも活用しながら、**洋上風力発電についての理解促進も必要**だと思います。

Q. また、北海道石狩市の「**再エネを水素製造に活用する**」といった取組や、鉄道各社が掲げる「**再エネを活用した全線運行**」といった取組など、**洋上風力発電による再生可能エネルギーを地域のエネルギー源として活用する、いわゆる「地産地活」に繋げるべき**と考えますが、県の所見を伺います。

A **エネルギー環境部長**

洋上風力によって発電された電力を地域内で活用する「**地産地活**」は、**送配電ロスを削減し、気候変動対策に貢献するだけでなく、地元の理解を促進していく観点からも極めて重要**であると認識しています。他県では再生可能エネルギーを生かした工業団地の整備や、災害時における地元への電力供給への検討といった動きもあり、今後、関係者との意見交換の場において、**地域のニーズを聞きながら対応を検討**します。

笹原的まとめ



洋上風力発電は非常に大きな効果を生み出します。2050年のカーボンニュートラルに向けて、「あわら市沖洋上風力発電」の一日も早い実現を期待します。

普段どういう活動をしているの？

笹原修之の活動報告

【2025.1▶3】抜粋

詳細は  Facebook
又は、ホームページを
ご覧ください！！



嶺北消防組合出初式



福井県スポーツ協会表彰式・新年会



日本カーニ連盟カーニポロ競技運営委員会



森林・林業・木材産業政策懇談会



本荘地区新春豆まき祭



一道会・皇風煎茶会



芦原温泉旅館協同組合年賀会



坪江南部6区会総会



あわら市商工会異業種交流会



福井県サッカー協会創立75周年記念式典



北潟地区区長会と語る会(フナ会)



あわら市・紹興市友好都市締結40周年記念式典



あわら市青壮年団体連絡協議会防災研修会



道路関係5事業促進期同盟会総会



北潟漁業協同組合総会



あわら湯けむり映画祭授賞式



プロスポーツ促進議連視察



あわら市はたちのつどい式典



北陸新幹線芦原温泉駅開業1周年記念事業



吉崎御坊蓮如上人記念館特別展開張式

県政についてのご意見・ご要望をお聞かせください!!
明るい未来を目指して。福井新・時代

ホームページは
コチラから!

日々の活動を随時更新中!

福井県議会議員 笹原修之

笹原修之 検索



【事務所】〒919-0632 福井県あわら市春宮三丁目19-15 (ハロープリント内)
TEL 0776-73-4513 / FAX 0776-73-1036 E-mail:sasahara@helloprint.co.jp